5　楠の里散策コース
約　6.3km

如意地名由来の大井神社。夢窓疎石（夢窓国師）が開山の瑞應寺。田園風景の残る楠味鋺は、原始時代の尾張文化の中心であった。それを示す数多い古墳群の出土品を保存している味鋺神社、護国院を経て西八龍社までの散策路。

①　大井神社（おおいじんじゃ）

往昔大井天神と称し、延喜式神名帳に山田郡大井神社とあり、和銅・養老年間（708～23）に勧請したとある。昔、観音堂に安置されていた如意輪観音が、如意の地名になったといわれる。

②　如意山　瑞應寺（ずいおうじ）

もとは「瑞竜寺」といい、夢窓疎石（夢窓国師）の創建といわれる。境内北の墓地には、南朝の雄であり後に味鋺と如意の領主となった石黒大炊助重行の墓がある。

③　鶴楽山　岳桂院（がくけいいん）

本尊は、阿弥陀仏。室町時代末期の創建で、庄内川のはんらんによって現地に移る。無縁仏塔の頂きに六体の六地蔵があるが、楠町のみにあるもので、刻銘は元禄 7 年（1694）の古いもの。

④　春日山古墳（かすがやまこふん）

二子山・白山とならぶ味美古墳群の一つで、5 世紀代の大規模な前方後円墳。庄内川流域を生活の場とした物部一族の時代がしのばれる。

⑤　首切地蔵（身がわり地蔵）（くびきりじぞう　み　じぞう）

“文政”（1818～30）の銘がある石地蔵。郷士一ノ曽五左衛門の邪剣によって切られようとした女中の身がわりとなり、胴体を二分されたという伝説がある。

⑥　味鋺神社（あじまじんじゃ）

延喜式神名帳に名が残る。白山藪古墳出土の古鏡が神宝。寛治 7 年（1093）に競馬の神事が催されたのが始まりで、戦前は例年流鏑馬（やぶさめ）が行われた。境内に稲置街道の石橋（清正橋）が保存されている。

⑦　味鏡山　天永寺護国院（てんえいじごこくいん）

僧行基が、自ら刻んだ薬師如来座像を本尊に建立した薬師寺が前身である。薬師如来を始め古鏡、大般若経 600 巻などの寺宝が残る。

⑧　西八龍社（にしはちりゅうしゃ）

通称「かみなり神社」。古来から、雷除け・日乞いの神として有名。創建は、朱雀天皇の御代と伝えられる。

市バス 如意車庫前 → 300m ①大井神社 → 200m ②如意山 瑞應寺 → 800m ③鶴楽山 岳桂院 → 1,300m ④春日山古墳 → 1,400m ⑤首切地蔵（身がわり地蔵） → 750m ⑥味鋺神社 → 20m ⑦味鏡山 天永寺護国院 → 650m ⑧西八龍社 → 900m 市バス 味鋺